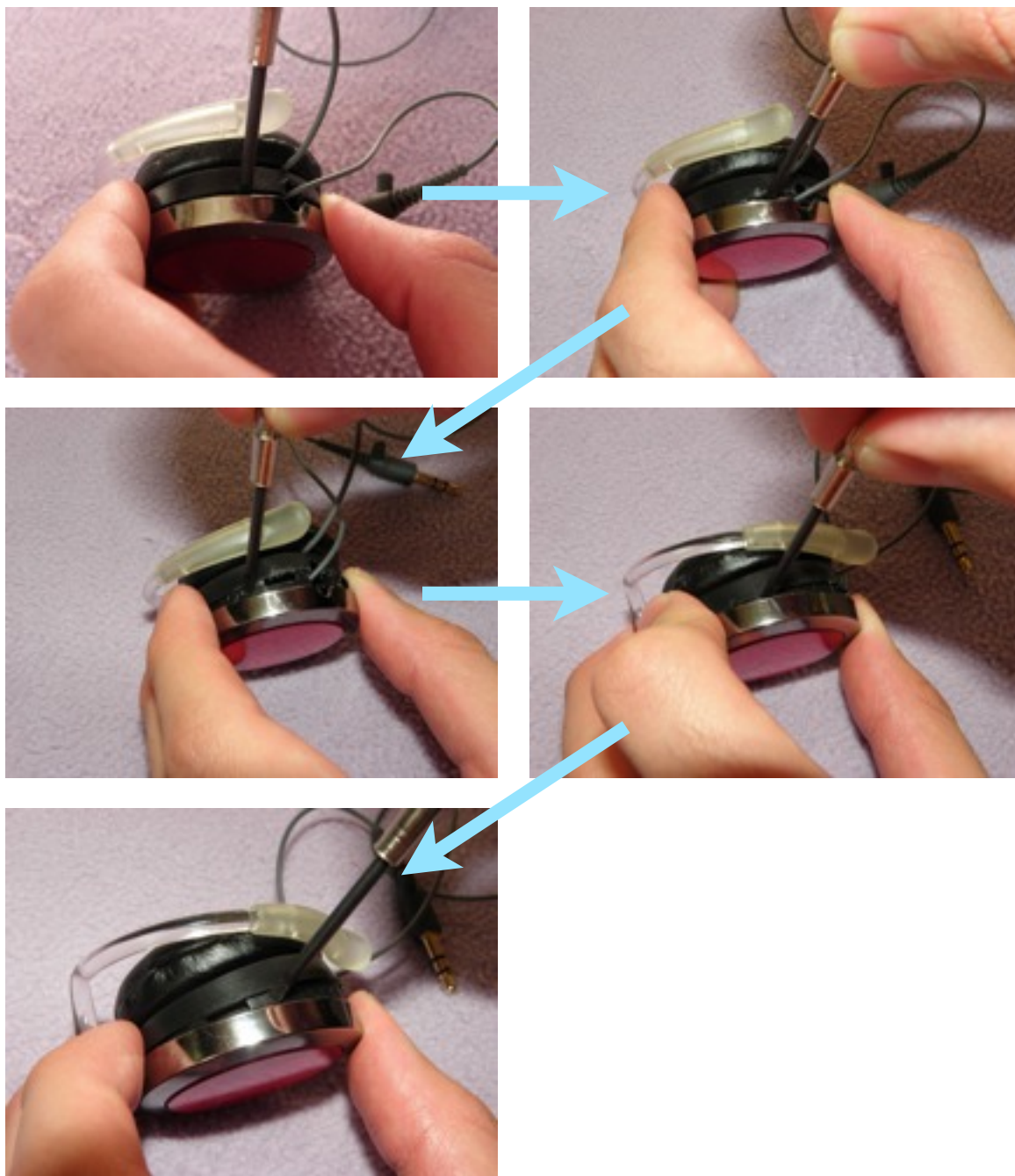


注：分解するとメーカー保証の適用範囲外となるので、全て自己責任で行うこと。若干のキズがつく可能性がある。

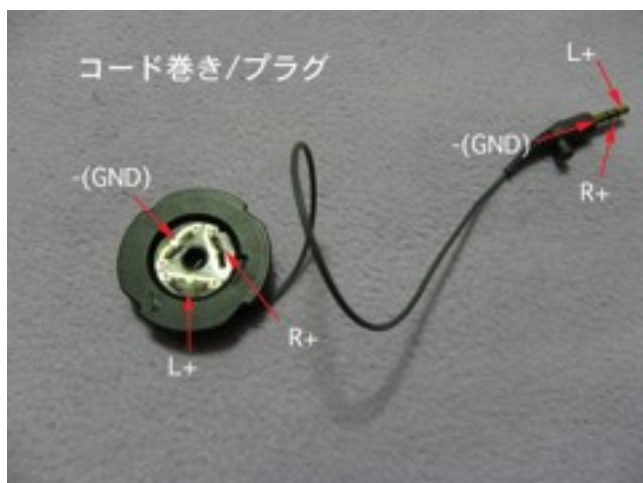
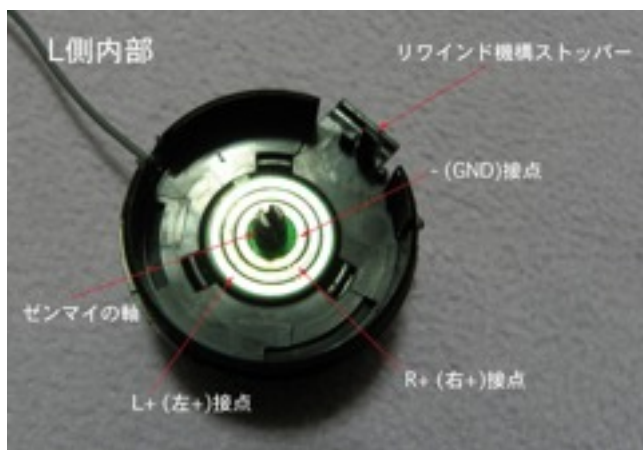
○ L側を分解する

1. コードを完全に巻き取る^{注1}。
2. 図のように2カ所（線出し穴の横→浮いたフタの閉じ目）に精密ドライバーを入れ、ツメを外す。



^{注1} コードが完全に巻き取られた状態でゼンマイが最もゆるむ。コードを引き出したまま分解するとゼンマイが飛び出す可能性がある。

3. 少しフタを開くと、耳掛け側のツメも外れてフタが開く。



※ 接点は、内側から、R+、L+となっている。コード巻き側の接点は、中心からの距離で見分ける。

4. コード巻きを垂直に引き抜く。
5. コード巻きの接点と本体の円形の接点を清掃する。
6. コードを手でコード巻きに完全に巻き取ってから ^{注2}、軸に差し込む。

^{注2} このとき巻き残しがあると、リワインド機構で巻き取られる長さがその状態までとなる。

7. 図のように、コード巻きを押さえながら指で作動部を動かして、コード巻きの切り欠きにストッパーを掛ける。



8. コード巻きを押さえながら線を少し引き出し、ストッパーがカチカチと働くことを確認する。コード巻きを押さえながらリワインド機構の作動部を押してコードをゆっくり巻き取る。
9. 線出し穴から線を出し、フタのツメCを本体の凹みCに合わせ、貝のように閉じてツメBとCをそれぞれ掛ける。



○ R側を分解する

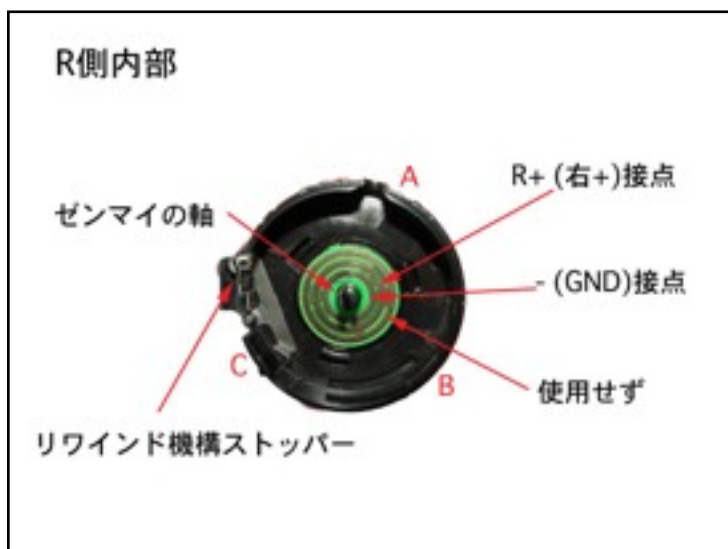
1. コードを完全に巻き取る。

2. 図のように2カ所（線出し穴の横→浮いたフタの閉じ目）に精密ドライバーを入れ、ツメを外す。



3. ツメ2カ所を外したら、そのまま少し開くと耳掛側のツメが外れ、フタが開く。

4. コード巻きを慎重に抜き取る。



※接点は、内側から、R+となり、最外周は不使用。コード巻き側の接点は、中心からの距離で見分ける。

5.L側と同様に接点を清掃する。

6. やはりL側と同様にコード巻きをセットし、ストッパーを切り欠きに掛ける。
7. 前頁図のCのツメを右図Cの位置の凹みに掛ける。



8. 本体を閉じる。

